

2026 年度必携ノート PC の推奨スペックについて

工学部 土木工学課程 都市・環境コース

芝浦工業大学では、多くの授業においてパソコン(PC)を使用します。大学や自宅などで常に身近において効率よく学修できるよう、各自ノート PC をご準備いただくこととなっております。このことは、各自が PC 環境を構築・維持する能力の醸成の意味もあります。

以下に、必携ノート PC の推奨スペック、推奨機種を記載しますので、よく読んでからPCを購入してください。

推奨スペック

- 形状およびディスプレイサイズ

ノート PC 型(ふつうの形「クラムシェル型」が良い。タブレットや 2in1 などではないもの)。13~14 インチサイズを推奨する(高精細画面や 4K モデルでなくてよい。13 インチ以上であればキーピッチが 19mm 程度であり、レポート作成で疲れない。重いが 15 インチでも問題ない)

- OS

Windows(土木での業務に使う PC のほとんどは Windows。OS 選定に悩むなら Windows が良い)

- CPU

Intel:最近の世代の Core i5 以上、または Core Ultra 5 以上

AMD:Ryzen 5 以上

ARM:不可

- メモリ

16GB 以上(予算の余裕があれば 32GB 程度も推奨)

- 内蔵ディスク

SSD で 256GB 以上(予算の余裕があれば 512GB 以上)

- 重量

持ち運びに困らないもの

- 無線 LAN

Wi-Fi6(IEEE 802.11ax)、又は Wi-Fi6E 対応推奨。大学内であれば学内 Wi-Fi が使えるので、LTE なしモデルで問題ない。

- USB ポートが 2 つ以上あるモデルだと良い(USB ポートが少ないモデルは、USB ハブの別途購入で対応可)

- 日本語キーボード、英語キーボードの指定なし

その他

- 周辺機器等

➢ カメラ、マイクの準備が必須(ノート PC に内蔵のもので構わない)。

➢ 外付けマウスはあつたほうが良い。

- ソフトウェア

Microsoft Office、Adobe Creative Cloud 等は大学が包括契約しているので不要
(サイトライセンスソフトウェア <https://scomb.jp/site-license-software>)

- 自宅等におけるインターネット接続環境

通信容量に制限がなく、通信が安定している環境を準備すること。

- ファイルの定期バックアップ用に外付けハードディスクも購入すること。(500GB 程度あれば当面は十分)

- 5~8万円程度のノートPCだと、理系の学生が使うPCとして非力であり、毎年買い替えになりそう。15~20万円程度のノートPCだと、2~5年は持つ。15~20万円程度のノートPCのほうが実際のトータルコストは良い。
- iPad、Chromebook、12インチ以下のノートPC、2in1ノート、MacBook、Linux OSのPCなどは、メインPCとしては非力であったり、授業や研究で扱うソフトウェアをインストールできない場合があつたりするため、作業性が低い。使いたければ、サブPC(メインPCの補助)として揃えるとよい。当面はスマホをノートPCの補助に使える。2~4年生あたりでメインPCだけで不十分な人は、サブPCを準備すると良い。
- 3年生以降で必要なPCスペックは、研究室ごとに大きく異なる。
- 卒論と修論では、ほとんどの研究室でデスクトップ型PCが使える。

推奨機種

Panasonic Let's note CF-FC6 (芝浦工業大学生協オリジナルモデル)

*具体的な機種例を示して欲しいとの声がある事から、推奨スペックを満たし、購入後のサポートがある上記モデルを推奨機種としました。

以上の情報を読んだうえで、自分でノートPCを選定してください。

どの製品を買えばよいか、具体的なメーカー名・製品名などの指定は課程からはしません。

本件に関する問い合わせ先:

芝浦工業大学 2026年度入学生必携ノートPCに関する問い合わせフォーム <https://surl.jp/DTe2899d>